



事業計画を審議する子ども・子育て支援会議

介護事業においては、地域の皆さま一人ひとりが支え合い、高齢者の方々が安心して暮らせるよう、元気な高齢者の皆さまにもご参加をいただき「お互いさま・ケアサポーター研修」を5月より実施しております。受講されました方には、「お互いさま・ケアサポーター」として、地域の高齢者の方を支援していただきたいと考えております。

また、去る4月3日、保育所の入所式および児童館の入館式を挙行いたしました。保育所には去年より8人多い23人の児童が入所しました。また、児童館へは昨年より20人多い49人の児童が入館しました。子どもたちの健やかな成長のた



特別栽培米の作付け

今年の作付け面積については、申告を受け付けたところ約163ヘクタール前後になる計画となっております。今後、作付けされた水田の現地確認を行い、集計作業を行ってまいります。「ふるさと応援寄附金」について申し上げます。稲作農家応援のため、今年度から3万円以上の寄付をしていただいた方に対し、広野産の特別栽培米のコシヒカリ精米1俵と広野産大豆の無添加みそ1パックを希望により返礼品として贈呈することいたしました。6月1日時点で610人の皆さまから申し込みがあり、現在、事務処理を進

め、より一層体制の充実を図ってまいります。

今年には戦後70周年の節目の年となり、戦没者などの遺族に対し、国として改めて弔慰の意を表すため、特別弔慰金が支給されます。本町においても4月より受け付けを行ってまいります。

環境防災課

4月6日から1週間の「新入学児童・園児の交通事故防止運動」ならびに5月11日から10日間の「春の全国交通安全運動」期間中は、双葉警察署および富岡地区交通安全協会広野分会のご協力をいただきながら、朝の通勤通学時間帯に街頭啓発を行い、交通事故防止を呼びかけました。

また、5月11日には広野町安心・安全ネットワーク会議の会員による街頭指導を広野駅前で行いました。今後も毎月1回交通・防犯の立哨活動（一定の場所に立って監視や見守りをする）を実施いたします。

まいります。



安心・安全ネットワーク会議による街頭指導

4月12日、満開の桜が咲き誇るなか、総合グラウンドにおいて、多くの来賓の方々のご臨席をいただき、広野町消防団、婦人消防隊ならびに東京電力広野火力発電所自衛消防隊の参加の下、「春季検閲式」を開催いたしました。団員などの品位および技能の錬磨に努めるため、通常点検および機械器具点検を行いました。



改修した総合グラウンドで実施した消防春季検閲

ら朝夕10コースで運行を実施しており、107人の児童生徒が広野小・中学校への通学に利用しております。

学校教育課

4月6日、広野小学校・広野中学校において、震災後3回目の入学式が行われ、小学校12人の児童・中学校32人の生徒が新1年生として入学いたしました。小学生、町外22人、町内88人で全児童は110人、中学生、町外21人、町内45人で全生徒は66人となっております。

4月9日には、広野幼稚園において入園式が行われ、17人の園児が新たに入園し、現在、町外1人、町内45人の46人が就園しております。小中学校のスクールバスの運行につきましては、昨年度に引き続き4月6日か



震災後初めて校庭で開催された広野小運動会

5月1日、小・中学校において、地震ならびに原子力災害を想定した避難訓練を共同実施いたしました。訓練にあたりましては、児童生徒の引き渡しについて、引き渡しカードを用いた訓練など、保護者を含めた連絡体制を確認いたしました。

広野小学校の運動会につきましては、5月16日が雨のため、17日に順延し開催されました。広野町での学校再開後の2年間は、多目

4月27日、国の代行業業として整備を進めておりました、災害廃棄物等仮設減容化処理施設の火入れ式が、議員の皆さまのご臨席を賜り、環境省ならびに受託業者の主催で挙行されました。当施設は大震災により発生した災害廃棄物、除染廃棄物ならびに農林系廃棄物の可燃性廃棄物を減容化するもので、6月より本格運用が開始されたことで、さらに復興が加速されるものと確信しているところであります。



災害廃棄物等仮設減容化処理施設

本町において除染事業により発生した除去土壌などの廃棄物について、仮置場

放射線対策課

児童達は、教師の指導の下、練習の成果をしっかりと出し切り最後まで頑張りました。特に、鼓笛隊につきましては、6年生が1年生から5年生までの全下級生を一生涯命引っぱり張りすばらしい演奏を披露し、ご家族の皆さまともども、思い出に残る大変貴重な1日を過ごすことができました。

ふたば未来学園高等学校については、4月8日に開校式と第1回入学式がとり行われ、152人の生徒が入学いたしました。

広野町本校舎での就学者は125人、静岡県三島長陵校での就学者はJFAアカデミー福島所属の18人、福島県猪苗代校での就学者はバドミントン所属の9人となっております。3つの校舎でのスタートとなっております。なお、広野町本校舎で

から中間貯蔵施設への輸送について、平成28年度から本格輸送に先立ち、廃棄物を有する福島県内自治体43市町村の試験輸送についての計画が示され、本町における試験輸送について、環境省から4月17日開催の議会全員協議会において説明がなされました。

町としては、4月22日から25日にかけて開催した住民説明会において、事業主体である環境省からその内容について説明いただきましたところでは、

町としては、事業実施にあたり、安全・安心を最優先とした確実な輸送となるよう、情報共有し監視体制を強化してまいります。

産業振興課

農業分野におきましては、4月11日に平成27年水稻作付けをする農家を対象とした水稻作付け栽培管理、安全な米を出荷するための取り組みについての説明会を開催いたしました。

の就学者125人の居住地については、町内は「立志寮」から通学する67人を含め79人、町外はJR利用の46人となっております。



立志寮から登校するふたば未来学園高生

町としては、夢と希望に胸を膨らませ就学する生徒たちを双葉8か町村で緊密に連携し暖かく見守っていく所存であります。富岡地区防犯指導隊広野分隊ほかの皆さまによる「あいさつ運動」、広野町安心・安全ネットワーク会議による「交通立哨」、加えて通学時間帯に係るJR増便の要望活動などを実施してまいります。